

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：平成29年5月30日（火）

9:35～10:20（2校時）

10:40～11:25（3校時）

場 所：雲南市立三刀屋小学校体育館

対象者：同校6年生45名

指導者：○6年部教職員

○古代出雲歴史博物館2名

1. 主題（主題名）

「奈良の大仏」の巨大さと、込められた思い

2. ねらい

- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、込められた先人の思いについても触れる。
- ・島根の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
9:35～9:40／10:40～10:45（5分） ①はじめに～大仏パネルの作り方を説明する	
9:40～10:05／10:45～11:10（25分） ②「奈良の大仏」について、その巨大さを体験を通して学ぶ。 ※1m四方の部品パネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18mの大仏を完成させる。	・「奈良の大仏」の実物大パネルを活用。
10:05～10:20／11:10～11:25（15分） ③奈良の大仏について、造られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。 ④学校周辺の文化財について学ぶ。	・造立の背景、大仏開眼式について説明する。 ・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行。 ・理解しやすい写真パネルを多用。

4. 準備物等

- ・〔体験用具〕「奈良の大仏」の実物大パネル
- ・〔説明用具〕写真パネル・学校周辺の文化財マップ（プリント）

5. その他

- ・大仏パネル準備のため、9時過ぎから体育館を使用